

開催記録

名 称	第2回会津美里町立小中学校適正規模・適正配置検討委員会
開催日時	令和4年1月24日（月）午後6時30分～午後7時50分
開催場所	じげんプラザ じげんホール
出席者	（委員） 木村委員・小川委員・渋井委員・赤井委員・小林委員・児島委員・大塚委員 （順不同：ほか委任状提出4件） （事務局） 歌川教育長、松本課長、金川主幹兼指導主事、渡部課長補佐、佐藤総務課長、猪俣佑一
議 題	○協議 （1）「魅力ある学校づくり」について ～地域とともにある学校づくりと幼小中教育の連携による次代を担う人材育成プロジェクト～ （2）今後の取り組みについて （3）その他
資料の名称	「第2回会津美里町立小中学校適正規模・適正配置検討委員会会議次第」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>1 開 会（省略）</p> <p>2 委員長あいさつ（省略）</p> <p>3 議 事</p> <p>1) 「魅力ある学校づくり」について（事務局より説明）</p> <p>（委 員）今回高田体育館の大規模改修ということで高田体育館では引き続きスポーツができると思うが、その他の体育館やスポーツ施設を改修する計画はあるのか。</p> <p>（事務局）合併以来、それまであった体育施設、特に体育館はそのままずっと維持してきた。それらを維持管理しながら安全に使えるようにしていくことは財政的にも大変なことである。町では社会体育施設の整備計画というものを今年度教育委員会で策定した。体育施設をある程度古いもの、特に利用人数等も勘案し、残すものはきちんと安心安全に使えるように、そして申し訳ないが利用するためには今後か</p>	

なり大規模な改修が必要だったり、今の時点で利用人数が少ないところであれば今後使わないように解体のような形にしていくということで整理している。高田にしても本郷にしても新鶴にしても、高田の人は高田の体育館だけ、新鶴の人は新鶴の体育館だけを使うのではなくて、町内全域でかなりの体育館があるので、さまざまな施設を使っただきながら、安全な形でスポーツに親しんでいただきたいと思っている。

(委員) 今までも、体育施設を高田・本郷・新鶴でいっぱいいっぱいまで使っている。旭・尾岐でも地域の人が使っているので財政的に厳しいのは分かっている。教育委員会には現にそのような施設を利用している方々がいるということをお伝えしたい。きっと無くしてしまったら使えなくなる人もかなり増えると思う。

(教育長) 利用調整も当然必要。社会体育施設だけでなく公共施設の電子予約システムとして、その場所に行かなくても、空き状況の確認や予約ができるよう、利便性を図りながら全ての町内体育施設をみんながうまく使っていくようなシステムに変えて行かなくてはならないと思っている。

(委員) 1点目は、本郷地域の小中学校の連携ということで、中学校の体育館を使って小学校も体育授業を進めていくという話であったが、そういった場合に、小中一貫で9年間みるとなると、体育の授業とかそういうのでプログラムの難しいところはないのか疑問である。もう一点は、子育て支援センターの本郷こども園への移転ということで、改めて質問させていただきたい。町全体を考えれば、本郷地域に子育て支援センターはできても不思議はないが、高田・本郷・新鶴の3地域が集まったの子育て支援センターということで、高田の場合でも、新鶴の坂下寄りの方から来る方は遠い、本郷の若松寄りからは遠いということで聞いていた。本郷地域になったら、なおさら本郷地域まで通いたいという方の足が遠のいてしまうのではないか。

(教育長) 一つ目の義務教育化された時の体育館の使い方だが、本郷中の体育館は大きく作ってあるため、おそらく広さ的には問題はないと思うし、そこは使い方の工夫でやっていかなければならないと思っている。半面にしても、もともと小さな小学校の体育館分くらい十分あるので、加えて逆に効果を期待しているのは、例えば片方で中学生が体育の授業をしていて、片方で小学生が体育の授業をしていて、あんな大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんみたいに私たちもやりたい、と憧れで見てもらうのも効果があると思うし、逆に小さい子に見られている事によって、だらけた体育ができないと気合が入る中学生もいると思う。そういう相乗効果を校庭でもそうですけど狙っていきたいところもある。2点目の子育て支援センターについては、委員のおっしゃったとおりの感情はあると思っている。高田や本郷の方にとっては近くてうれしいかもしれない。新鶴の方には今より遠くなって大変だと思っ方はいるわけで、理想としては、会津美里町は一つであるので、どこにな

っても時間がかかってもご利用いただきたいと思っているし、それから財政的な所で申し訳ないのだが、新築できれば理想的なのだが、なかなかそれは難しい状況であり、今町が抱えている利用可能な施設を考えたときに、5、6箇所の候補を挙げて検討してきたが、空くのであれば本郷こども園の乳児部棟がベストだろうとのことで、ご理解いただきながらできる限り良い環境を整えていきたいと思っている。

(委員) 小学校と中学校の連携はすごく大事だと考えている。今、本郷小学校と本郷中学校において、やはり去年今年とコロナで先生方との交流もなかなか進まなかったもので、充実した取組を進めるという観点で、このような一貫の形を作っていたかどうかというのは非常にありがたいと感じている。この形で行くと高田中学校区、本郷中学校区、新鶴中学校区でそれぞれ頑張っていく、コミュニティ・スクールも含めてそうだが、やはり町を支えていく人材育成のために、それぞれの中学生がそれぞれ交流をすることもすごく大事な観点だなと思っている。

2) 今後の取り組みについて (事務局より説明)

(教育長) 前回ご質問があつて話題になったが、それは中学校の部活動の取り扱いである。自由に部活動が選択できないなら、中学校を一つにしてしまったほうがいいのではないかという意見もあろうかと思うが、前回申し上げたとおり、実は部活動については、国も見直しを進めなければならないということで、スポーツ庁の方で様々な有識者会議等で検討しているが、当町でも学校に限りある部活動しかないもので、それをどう維持していくのか、そこに入りたくない子どもの扱いをどうしていくのか非常に問題が多くある。中学校が3つある限りは、それぞれの地域でそういう受け皿をある程度作っていかなければならないと思う。中学校がもし一つになっても、当然やれる部活動とやれない部活動があるので、どうしてもその部活動をやりたくないという子どもは、地域のスポーツ団体のところで一緒にやっていくような方向を作っていく必要があるのかなと思っている。これについてもいろいろご意見をいただきながら競技団体等ともいろいろ相談をしていきたいと思っている。

3) その他

(事務局) この会議は今年度は今回で終わりだが、現時点での町の考え方をこのプロジェクトを中心に、現時点での方向性について出来れば保護者会等でご説明、意見交換をしたいと考えている。

(委員) 各単Pごとに、資料をもとに意見交換を行ったうえでの保護者代表、役員等と話し合いを持つということによろしいか。

(事務局) やはり三地域でそれぞれこちらからお邪魔をしてお話をしたいと考えている。

(教育長) 基本的には保護者の方に説明する機会をいただきたいのと、やはり住民の方全体にもお知らせしたい内容もあるため、方法を検討していきたい。

5 その他

※次年度の見通しを連絡。

6 閉 会

(午後 7 時 50 分)